



## おめでとう！ 学校創立130周年記念

期成会・PTA・地域の方々等、関係各位のご協力により130周年記念行事を大成功裏に終えることができました。感謝！



辺土名小学校創立130周年記念式典行事の開幕を告げるテープカット 平成24年11月25日（日）午後1時～



テープカットと同時にくす玉割り



学年代表児童による記念碑「夢」の除幕  
「夢」の考案者は、6年生・大城雷希君



山城富函氏（桃原出身・寄贈者）、学年代表児童と一緒にシーサーの序幕



式典の幕開けとして、全児童161名による  
「校歌斉唱」・「お祝いの歌（2曲）」



期成会・山川安雄会長式辞



「感謝状の贈呈」歴代校長、歴代PTA会長、多額事業功労者、事業協力者の計42名



感謝状受賞後、各部門毎に記念写撮影  
※歴代PTA会長の皆さんです



記念祝賀会での幕開けは、三線クラブの「安波節・デンサー節・安里屋ユンタ」に始まり、続いて、大正琴クラブによる「ビューティフルサンデー・思い出のアルバム」。大好評でした。







### 【学校長式辞】・・・大城 正和

ススキの穂が秋風になびき、稲穂が黄金色に色づき始める実りの季節を迎えています。

本日、ここに辺土名小学校創立130周年記念式典を挙げるにあたり、新島満 国頭教育事務所長、宮城久和 国頭村長、大城武 村議会議員、小橋川春武 村教育長、歴代校長先生方をはじめ、多くのご来賓の皆様、PTA、地域の皆様のご臨席を賜りましたことはこの上ない喜びであり、衷心より感謝を申し上げます。

さて、本校は、明治15年(1882年)3月25日、国頭小学校として国頭間切奥間番所跡に開校以来、明治、大正、昭和という激動期の中で、国頭尋常小学校、国頭尋常高等小学校、国頭国民学校、辺土名初等学校と校名が改称され、昭和27年に現在の辺土名小学校となりました。これまで約6000名余の卒業生を排出し、県内外における諸先輩方のご活躍は、政治・経済・スポーツにとどまらず、あらゆる分野・階層で特筆すべきものがあります。創立130周年という長い歴史の中で、歴代校長先生、職員の皆様、PTA並びに地域の皆様方の情熱あふれる教育愛、母校愛によって「たくましく、あかるく、すすんで学ぶ」という校風が築かれ、今日の辺土名っ子にしっかりと引き継がれています。

国頭村の中心地・辺土名区に所在する中核となる小学校として、子どもたちはこれまで文化面では、童話・お話大会、図画・作文・感想画・感想文・版画コンクール等で国頭地区や県において優秀な成績を修めてきました。スポーツ面でも、児童オリンピック大会やヤンバルクイナカップ沖縄県小学生駅伝競争大会での活躍、少年野球、ミニバスケット、ドッジボール、陸上クラブなど部活動でのめざましい活躍も見られます。特に、昨年8月、福岡県で開催された第33回稲尾杯少年野球大会では、小さな体格揃いの国頭ファイターズが準優勝という快挙を成し遂げ野球関係者をはじめ村民に大きな喜びと感動を与えました。

そして、昨日、ビッグニュースのメールが届きました。福岡県で行われている第16回イーストカップ2012チャンピオンシップ大会において、KKブレイブがみごと優勝という快挙をなしとげました。会場の皆様、ドッジボール部KKブレイブの選手並びに関係者の皆様方に大きな拍手をお願いいたします。誠にありがとうございます。

また、これまでの健康安全教育活動の実績が認められ、昨年度、国頭地区健康安全研究大会において、「安全優良校」として表彰されました。

児童会では、「あいさついっぱい」「花いっぱい」「読書いっぱい」の3つのいっぱい運動が伝統として定着し、毎日、校門前での元気でさわやかな朝のあいさつに始まり、花を育て、本に親しみ楽しい学校生活を送っています。

また、平成16年度、地域の方々を講師としたクラブ活動がスタートし、今年で8年目を迎え地域に開かれた特色ある教育活動が行われています。

さらに、昭和54年に創設された「緑の少年団」は、沖縄県や国頭村主催の植樹祭、育樹祭など、学校外ボランティア活動にも積極的に参加・協力し、地域の環境美化や緑化活動にも力を入れています。

結びになりましたが、学校創立130周年に当たり、村当局、教育委員会、期成会、同窓生、郷友会、PTA並びに地域の皆様方のご厚情により、記念庭園の整備や記念石碑・戦争遺跡の建立、シーサーの設置、テントの寄贈、そして、百周年記念誌復刻版の発刊、後日発刊される記念誌等、多額の予算を計上していただき心から感謝を申し上げます。

創立130周年記念事業のスローガンを「130 感謝・絆・夢、そして飛翔 150」としました。本校が、地域に根ざした学校として、今後、150年、200年と未来永劫に亘って益々力強く発展していくことを誓うとともに、諸先輩方が築きあげてきた歴史と伝統を誇りとして、子どもたちが夢と希望を抱き、「たくましく、あかるく、すすんで学ぶ」辺土名っ子の実現に向け、大きくはばたいていくことを祈念し式辞と致します。



### 【児童代表あいさつ】・・・樋口 一瀬

僕たちの学ぶ辺土名小学校は、今年の3月25日に130歳の誕生日を迎えました。本当におめでたいことです。僕たちは、式典の行われる今日のこの日を、指折り数えて待ちました。

去った9月23日には130周年記念大運動会が行われました。僕たちにとっては、小学校最後の運動会でした。記念大運動会では、人文字づくりや校歌ダンスなど、地域の皆様そして、保護者の方々と協力するプログラム多数ありました。そして、運動会から今日の日を迎えるまでいろいろなプロジェクトが進められてきました。10月30日、図工室となりの塀に、1年生から6年生、先生方の手形をおしました。11月5日には、新しいすべり台が設置されました。さらに、11月14日に、校門前にあるシーサーや松の木の下にある「夢」と書かれた石ひが完成しました。村役場や教育委員会、期成会、すべり台やシーサーを作った人など、多くの皆様のおかげで、このようにすばらしいプロジェクトを成功させることができたのだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの人の学校への協力を見て、児童会で取り組んでいる3つのいっぱい運動も先ばい方の努力で何年も前から続いているんだと、改めて感じました。そして、この3つのいっぱい運動のがんばりで辺土名小学校は、朝からあいさついっぱいです。これまですばらしい伝統を築きあげてくれた先ばい方へ感謝し、これからもこの伝統を守ることを誓います。

そして、僕たち6年生は130周年をお祝いした卒業生としてこの学校から旅立てることをいつまでもほこりにしたいと思います。

辺土名小学校、130歳おめでとうございます。

